

長野県理学療法士協会主催

2026年度理学療法士講習会

2026年8月30日(日) 9:00~16:00

会場: Aiクリニック

大腿骨近位部骨折術後の運動療法 -術式と回復時期に応じたアプローチ-

講師: 山本 昌樹 先生

帝都メディカルクリニック西新井駅前院 副院長

日本理学療法士協会 運動器・スポーツ理学療法専門理学療法士
整形外科リハビリテーション学会 副代表理事・特別上級指導員

千曲市出身。養成校卒業後、JA長野厚生連リハビリテーションセンター鹿教湯病院勤務、その後、運動器・整形外科の理学療法を専門として養成校教員や総合病院などで従事してきました。

大腿骨近位部骨折術後のリハビリテーションは、理学療法士が比較的多く経験すると思います。術式の理解と手術状況を把握すること、また回復時期に応じたアプローチによって、良好な歩行獲得と機能・能力改善が図られます。その具体的な方法について理論と共に豊富な実技で、臨床活用できるように修得していただきたいと思います。

故郷である長野県の理学療法士の皆様にお会いできることを楽しみにしております。

業績・著書・論文

- 第33回整形外科リハビリテーション学会学術集会 大会長。2025
- 図解理学療法技術ガイド第5版。第5章各種疾患別理学療法。2運動器疾患の理学療法。10上腕骨近位端骨折。市橋則明(編):文光堂 分担執筆
- 運動器リハビリテーションに役立つFasciaのみかた・とらえかた。今北英高(編):文光堂 分担執筆
- 手関節・手指関節の機能解剖学的特性からみた理学療法実践—骨折を中心に—。理学療法37(2)

その他、全国各地での講義、臨床指導、ジャーナル掲載など活動は多岐にわたる。